

労災かわらばん

冬号

Vol.17 発行日/平成18年1月31日 編集/釧路労災病院新聞局

●本人確認の協力について●

患者様の誤認防止のために、単に患者様の名前を呼ぶかける従来の方法から「名前を患者様に名乗っていただく」ことで患者様と共に作り上げる医療安全文化を目指したいと思っています。お任せ医療ではなく、何か疑問や不明なことがありますら、いつでも職員に問い掛けることができる環境を日頃から作りたくと思っていますので、ご協力くださる様、宜しくお願ひ致します。(診察や検査、手術などを実施する場合、名前と生年月日をお答えいただいております)

《医療安全対策委員会》

四十五年の歴史を有する釧路労災病院地域医療への貢献の自負はありましたが、それが全国同一評価基準での外部評価に耐え得るもの

か否か未知でした。受審へ備えて病院挙げての二年余に亘る真摯な取組みがあつて、去る十一月、晴れて認定されたわけです。前述の6つの領域で求められている病院機能は、利用者の視点からは当たり前の事ばかりです。受審を通じて外から見ればその通りでなかった面も多少あつた事を、反省する機会でもありました。

これは「組織の運営と地域にむける役割」、「患者の権利と安全の確保」、「療養環境と患者サービス」、「診療の質確保」、「看護の適切な提供」、「運営管理の合理性」等6つの領域で病院としてふさわしい機能を有する事と公的に認められたわけです。

日本医療機能評価機構は、専門家集団による外部評価です。新年を契機に今度は専門家ではなく患者さんをはじめ、地域の一般の方々から同じ様に評価されるべく、スタッフ・職員一同努力します。今年も宜しくお願ひ致します。

新年明けましておめでとうございます。

受審へ備えて病院挙げての二年余に亘る真摯な取組みがあつて、去る十一月、晴れて認定されたわけです。前述の6つの領域で求められている病院機能は、利用者の視点からは当たり前の事ばかりです。受審を通じて外から見ればその通りでなかった面も多少あつた事を、反省する機会でもありました。



新年のご挨拶

独立行政法人
労働者健康福祉機構
釧路労災病院
院長 小柳知彦

病院機能評価の審査に合格



病院機能評価
受審推進委員長
高橋達郎

高橋達郎

《第三者による評価》
いつの時代も医療機関は地域や患者の皆様の要望に応え、適切・安全で質の高い医療を提供することが求められています。そのためには組織としての充実した機能、向上を目指す日々の努力、そしてその

裏付けとなる実績が必要となります。こうした医療の質の水準を病院の独りよがりの基準ではなく、「第三者の目」という立場で公平、中立で客観的に評価、審査する機関として「財団法人 日本医療機能評価機構」があります。

当院は、その審査を受け、医療の質が所定の基準以上を達成していると評価され(すなわち「合格」)、平成17年11月21日付で認定証が交付されました。いわば医療機関として「適」のお墨付きを取得したことになります。釧路地区の総合病院としては第1号です。受審に向け病院挙げての取り組みから約3年、職員の

日頃の努力が認められ、高い評価を得ることが出来ました。

《審査・評価の視点》
実際の審査は、
①病院から提出の書面審査
②評価者(7名)による当院訪問審査(3日間)
③書面と訪問審査の結果をもとにした評価機構委員会での最終審査

の三段階を踏んで実施されます。試験にたとえれば、①は筆記試験、②は面接試験および口答試験、③は合否判定会議、に相当します。

評価の対象となる項目は、多岐・多数にわたりますが、その根幹にあるのは、地域や患者の皆様の間からみでの医療を展開しているかどうか、ということに尽きます。安全で良質な診療の確保や適切な看護の提供はもろろんのこと、快適な医療環境の整備、それらを支える病院組織の合理性も問われることとなります。

認定証

Certificate of Accreditation

認定第JC720号
Accreditation Number



審査体制区分4
(Ver. 4.0)
Assessment system division 4

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構 釧路労災病院 殿
Hospital Name Kuroki Rosai Hospital

貴病院が日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成していることを証する

This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory compliance with the applicable JCQHC accreditation standards.

認定期間: 2005年11月21日~2010年11月20日
November 21, 2005 - November 20, 2010

発行日: 2005年11月21日
Issue Date: November 21, 2005

財団法人 日本医療機能評価機構 理事長 坪井 栄孝
Japan Council for Quality Health Care Chairman of the Board Eitaka Hiraiwa

《今後に向けて》
今回、当院は第三者機関による審査に合格しましたが、皆様の目からみてまだまだ不満足な面、改善を望む点が多々あるかと思えます。お気付きのことをご指摘、またご意見などをお寄せ頂ければ幸いです。当院としましては最終目標は、審査に合格することではなく、皆様に与えたいより満足いただける病院創りにある、と考えております。

今後とも職員一同、地域や皆様と一緒に素晴らしい病院を築き上げていくよう努力を重ねていく所存です。何卒よろしく御願ひ申し上げます。

◎放射線科に最新の血管撮影装置が導入されました。